

飲食店における食品ロス削減実践モデル事業の概要 (令和7年10月30日～令和8年1月31日)

飲食店の皆様、
食品ロス、減らませんか

参加店舗募集!

山梨県
令和7年度事業

「飲食店における食品ロス削減実践モデル事業」

数量限定で県が提供

食品持ち帰り容器の導入

小盛りメニューなど、食べきれない量の提供

30・10運動の呼びかけ

山梨県内において、固定型店舗で営業している飲食事業者様

事業期間 令和7年10月下旬～令和8年1月31日

ご参加いただいた事業者様は、県の特設ホームページや当該Instagramで公表しますので、社会的課題に積極的に取り組む飲食店としてPRできるとともに、ブランドイメージの向上が期待できます。

詳細・応募はこちら

山梨県総合県民支援局 県民生活支援課

☎ 055-223-1588

平日 8:30～17:15 (担当: 鈴木)
kenmin-shien@pref.yamanashi.lg.jp



「飲食店における食品ロス削減実践モデル事業」

数量限定で県が提供

啓発資材等を提供

食品持ち帰り容器の導入・利用推進

小盛りメニューなど、食べきれない量の提供

30・10運動の呼びかけ

お客様の自己責任においてお持ち帰りいただくものです

<事業の概要>

- ・希望する店舗に、料理の持ち帰り容器・紙袋を50～100セット配布し、持ち帰り容器の使用を促進。
- ・小盛りメニューの提供や「30・10運動」の呼びかけなど、食品ロスの削減を推進。

<参加店舗>

メール・インターネット等で参加店舗を公募し、55店舗が県による持ち帰り容器を配布した。

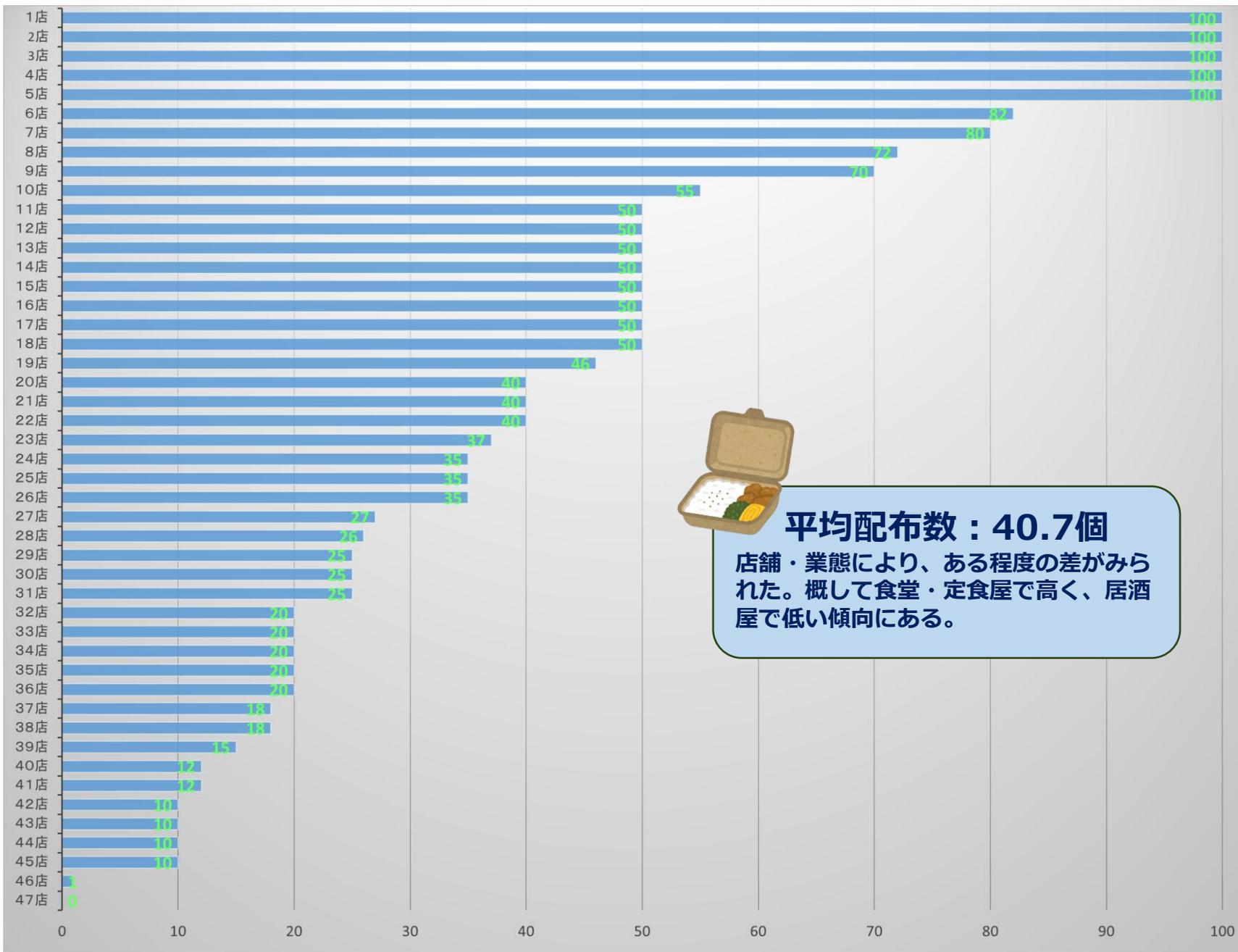
<アンケート調査>

当該55事業者に対し、事業後に効果を検証するためのアンケート調査を実施。回答数：47（未回答8）、回答率85%

持ち帰り容器の配布数（令和7年10月30日～令和8年1月31日）



YAMANASHI



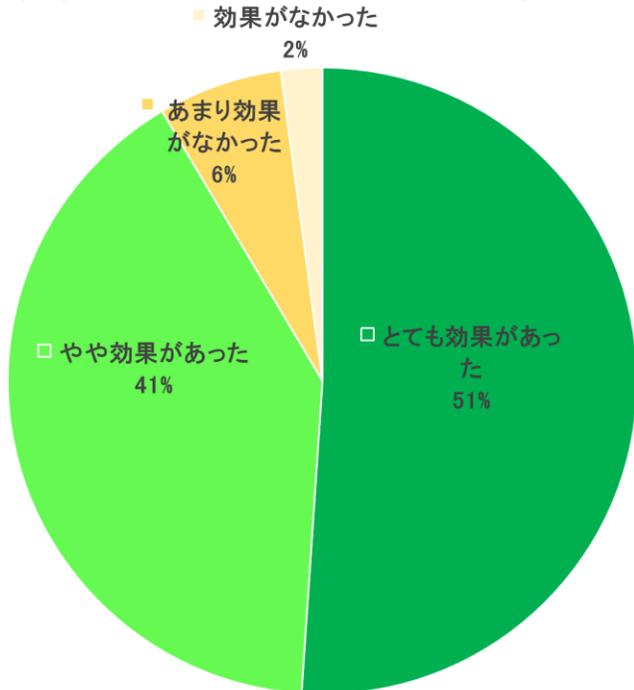
平均配布数：40.7個

店舗・業態により、ある程度の差がみられた。概して食堂・定食屋で高く、居酒屋で低い傾向にある。

持ち帰り容器・袋による食品ロス削減効果



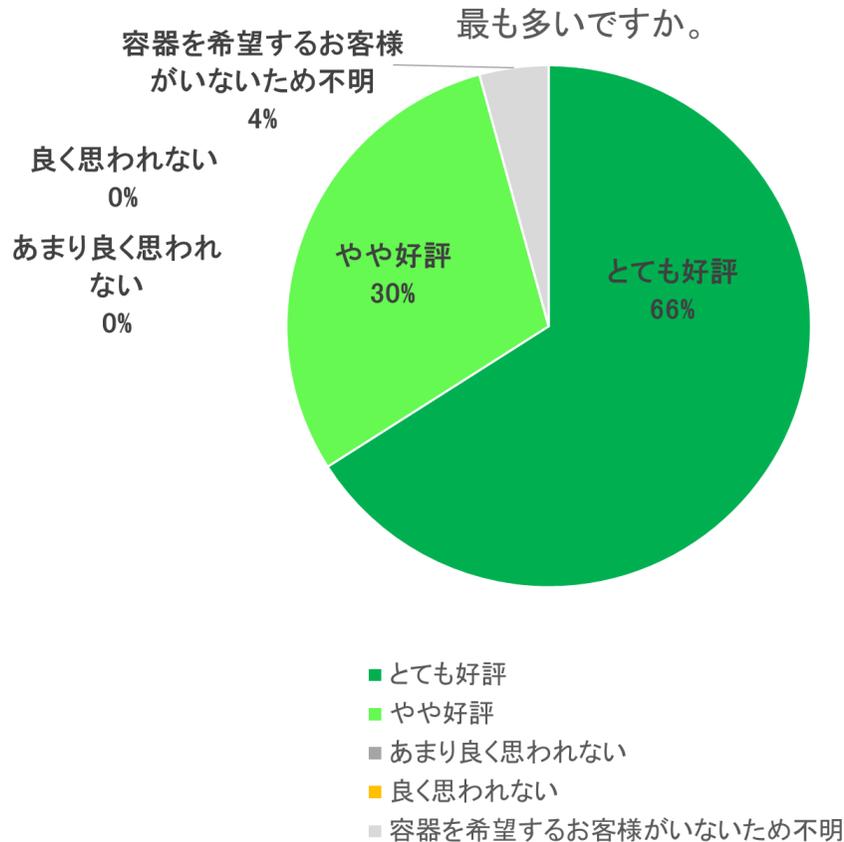
持ち帰り容器の配布は、食品ロスの削減に効果がありましたか。



- とても効果があった
- やや効果があった
- あまり効果がなかった
- 効果がなかった

92%の店舗で、持ち帰り容器による食品ロス削減効果を実感

持ち帰り容器の配布について、お客さんの反応はどれが

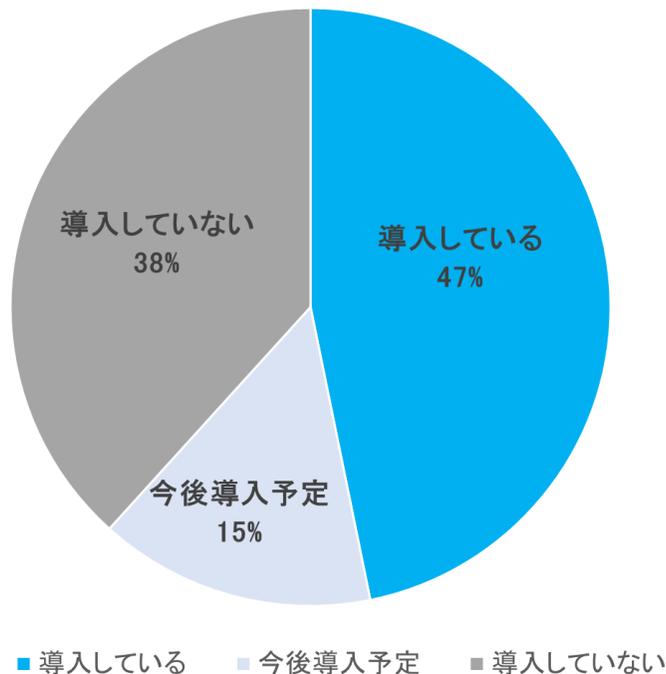


顧客の反応について、「とても好評」「やや好評」が計96%と、消費者は持ち帰り容器を歓迎している

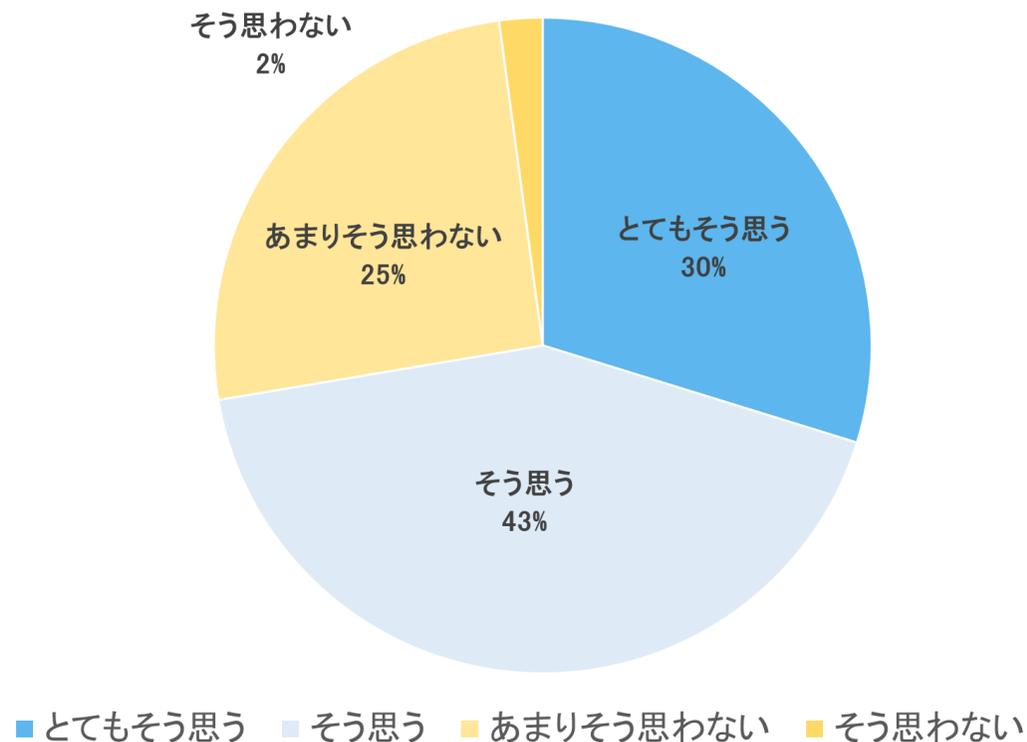
小盛りメニューの導入状況と食品ロス削減効果について



貴店では、通常メニューよりも量の少ない「小盛りメニュー」を導入していますか。



「小盛りメニューの導入」は、食品ロスの削減に効果があると思いますか。



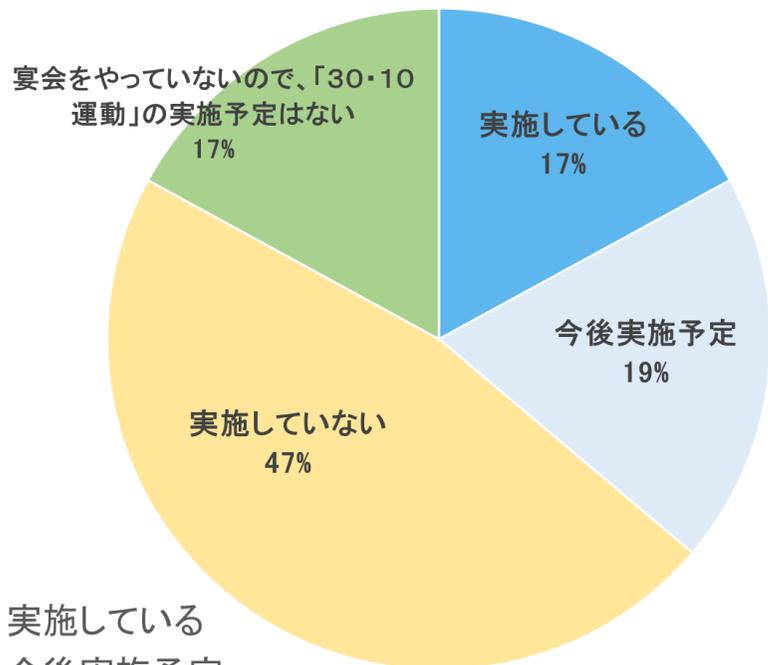
- ・ 小盛りメニューを導入している、もしくは今後導入予定の店舗が62%
- ・ 小盛りメニューの導入により食品ロス削減が進むと考える店舗が73%

→小盛りメニューの導入は、ある程度浸透しているとみられる

「30・10運動」の実施状況と食品ロス削減効果について

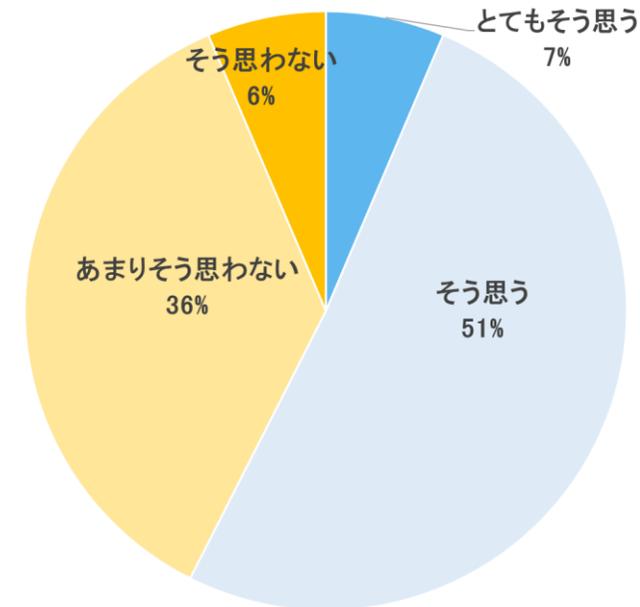


貴店では、「30・10運動」の呼びかけを実施していますか。



- 実施している
- 今後実施予定
- 実施していない
- 宴会をやっていないので、「30・10運動」の実施予定はない

「30・10運動」の呼びかけは、食品ロスの削減に効果があると思いますか。



- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

- ・ **58%の店舗が「30・10運動」の実施予定なし**（宴会を実施していない店舗は除外した。）
- ・ 「30・10運動」に懐疑的な店舗が42%を占めており、消費者を含めいかに運動を広めていくかが課題。